

## 船橋市 交通円滑化対策部会 検討結果概要

令和3年(2021年)6月

船橋市

### 目次



No	項目	
1	メンバーと部会の実施結果	
2	本検討で適用した交通シミュレーションの概要	
3	高根台エリアの検討結果	<ul><li>(1)現状把握と渋滞発生要因</li><li>(2)当該エリアの課題と対策のコンセプト</li><li>(3)対策内容</li></ul>
4	JR船橋駅北 口周辺エリア の検討結果	<ul><li>(1) 現状把握と渋滞発生要因</li><li>(2) 当該エリアの課題と対策のコンセプト</li><li>(3) 対策内容</li></ul>
5	国道14号の 検討結果	(1)位置図 (2)現状把握 (3)対策内容

### 1. メンバーと部会の実施結果



部会メンバー

### 委員

#### 学識経験者(1名)※部会長

国土交通省 (道路管理者)

千葉国道事務所 計画課

千葉県 (道路管理者) 県土整備部 道路計画課

葛南土木事務所 道路建設課

千葉県

(交通管理者)

警察本部 交通規制課 (規制担当)

警察本部 交通規制課 (信号担当)

船橋警察署 交通課

船橋東警察署 交通課

船橋市 (道路管理者)

建設局道路部 道路建設課

部会の開催状況

検討エリア: 3エリア(高根台エリア・JR船橋駅 北口周辺エリア、国道14号)

【室内会議:9/30】

■対策エリアの選定方法及び結果の紹介

⇒今年度の対策検討エリアの決定

■対策エリアでの現況分析結果

⇒現状把握及び追加分析の意見交換



【現地視察&室内会議:11/30】

■現地視察(2エリア:高根台エリア・JR船橋駅北口周辺エリア)

■高根台、JR船橋駅北口周辺、国道14号エリア等での検討

⇒問題筒所及び渋滞要因と対策の方向性

【現地視察】



【室内会議(ワークショップ)】



【室内会議:4/26】

■対策コンセプト・メニューの立案

■対策の効果予測結果の確認

■対策を具体化する際の留意点



第

0

## 1. メンバーと部会の実施結果(1)対策エリアの選定方法



#### 国県道

#### STEP①:対策指標の設定・加点

データ整備状況を踏まえて、DRM区間単位として評価する(直轄と県管理路線を別々に評価)。

#### 【評価指標】

①旅行速度(ETC2.0データ)

・平日12時間/平日朝夕ピーク時/休日12時間 平均旅行速度

[各3点:15km/h未満、各2点:20km/h未満、

各1点:30km/h未満]

②渋滞によるロス時間

・延長あたりの損失時間(速度差×交通量)

[3点:20位以内、2点:100位以内、

1点:200位以内]

#### STEP②:対策優先度検討

評価指標①~②の各得点による総合評価での優先順位を検討し、上位箇所を対策候補区間として選定。

#### STEP③:対策区間決定

隣接区間の統合を行い、対策区間を決定し、既存計 画有無確認した上で、対策要望を行う。

#### 市道

#### STEP①:対策指標の設定・加点

データ整備状況を踏まえて、DRM区間単位として評価する。ただし、1・2級道路を対象とする。

#### 【評価指標】

①旅行速度(ETC2.0データ)

・平日12時間/平日朝ピーク時/平日夕ピーク時/休日12時間平均旅行速度

[各3点:10km/h未満、各2点:15km/h未満、

各1点:20km/h未満]

②交通量(ETC2.0データサンプル数)

·走行台数[3点:30台/日以上]

③道路の幅員

·道路幅員[5点:13m以上、3点:5.5m以上、

1点:3m以上]

④ 区間延長 [3点:100m以上、1点:50m以上]

⑤道路の機能

•道路種別[3点:1級道路、2点:2級道路]

#### STEP②:対策優先度検討

評価指標①~⑤の各得点による総合評価での優先順位を検討し、上位箇所を対策候補区間として選定。

#### STEP③:対策区間決定

隣接区間を統合し、対策区間を決定し、既存計画や地域要望等の有無を確認した上で、対策検討・立案を行う。

# 1. メンバーと部会の実施結果(2)対策エリアの選定結果



#### 【対策区間の選定結果】

